

学習指導案

学校名		学校番号	
学科名等		枝番号	

科目名	工業情報数理	指導クラス		指導者		実施日	令和5年○月○日	
教科書	精選 工業情報数理 (実教出版 719)		単元名	第3章 プログラミング				
本時主題	第7節 繰り返し処理(1時間目/全2時間中)							
本時の目標	①IF(選択)のプログラムを作成することができる(復習) ②FOR(繰り返し)のプログラムを作成することができる。							
単元の評価規準	知識・技術 a		思考・判断・表現 b		主体的に学習に取り組む態度 c			
	・選択処理や繰り返し処理の使用 する命令について理解し、コンピュータに入力してその結果を出力するプログラムを作ることができる。		・プログラムを読んで、どのような結果が出力されるか考察し説明することができる。		・プログラムに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。			
時間	指導内容	生徒の学習活動		評価の場面・方法	評価の観点			教師の指導上の留意点
					a	b	c	
導入10分	○前時の復習 ○本時の目標の確認	①選択処理 復習 ・manabaにて回答(5分) ・振り返りを行う ・スマホをしまう		・manabaで確認	○			・タブレットを借りていない場合はスマホにて回答させる。スマホを忘れた場合は紙面で回答させる ・正答率が低い部分について解説を行う ・実際にBASICを動かし、解説を行う
展開35分	○本時の目標の確認 (FOR文) 教:P106～ 例題12 教:P107～ ○演習問題を解く 教:P108 例題13 ○グループワーク	・教科書、プリントを机上へ ・生徒の前面にある中間ディスプレイに注目しプリントを埋める。 例題1のプリントを埋める。 演習問題のプログラムを入力し確認する。 例題2のプリントを埋める。 演習問題のプログラムを予想しプログラムソフトで入力し実際に確認する。		・行動観察			○	・プリントを配布し教科書を机に出させる ・中間ディスプレイに注目させ、板書内容をプリントに取るよう指示 ○机間指導 ・プログラムを入力し解くように指示をする ・周りの人と相談しながらやってもよいと声をかける ・出来具合をみながら、解答を導けなさそうなら、中間ディスプレイにヒントを記入していく。 ○ ・中間ディスプレイに答えを投影する ・周りの人と解答を共有することを指示する

		付近の人と解答を共有する				
ま と め 5 分	○本時のまとめ ○次時の予告	・本時学習した内容を振り返る（I F・F O R） ・次時の学習内容を理解する				・本時の目標を達することができたか確認し、次回の授業の予告をする

実施後の課題点等

・ I F（選択）復習時に、スマートフォンの電波が入りづらいこともあり manaba の解答時間が予想時間より多くなってしまった。また、円滑な授業進行のために、ワークシートに授業内容を盛り込まないなど見直しをする必要がある。個人の作業が多く発問が少なくなってしまったなど課題がある。